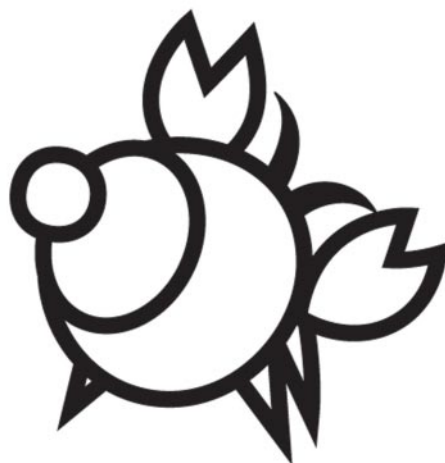


やどかりの里は「響き合って生きる」をめざします

やどかりの里 後援会へのお誘い



Yadokari-no-sato

**Community-based Mental Health Agency
since 1970**

やどかりの里は、精神障害のある人たちが、地域の中で生き生きと暮らし、働くことを目的に設立された民間の公益法人（社団法人）です。

1970（昭和45）年に“ごく当たり前の生活を”求めて始まった私たちの活動は、効率だけが優先される社会ではなく、一人一人が尊重され大切にされる社会を、そして、障害のある人も一人の市民として共に生きる街づくりをめざし、活動しています。

「誰もが安心して、いきいきと暮らせる社会を創りたい」と願い活動するやどかりの里の応援団が、やどかりの里後援会です。一人でも多くの方がご参加下さいますよう心より呼びかけいたします。

やどかりの里後援会
会長 山崎 光夫

暮らし・いきがい ・支え合い

1. 日常生活相談・就労・生活支援

暮らしを支える多様な仕組みづくり
長期社会的入院者の退院支援
一人暮らしの準備に関する相談・支援
就労相談・支援及び働く場の創出
グループ活動
地域の関係諸機関・団体との連携



地域の中の安心の場

2. 社会福祉施設等の設置・運営

地域生活を支える障害者生活支援センター
精神科病院からの退院を支える援護寮
地域で安心して暮らせるグループホーム
情報発信基地としての福祉工場
在宅高齢者の食サポートを担う通所授産「食事サービスセンターエンジュ」
街のお弁当屋さん 小規模通所授産「食事サービスセンターまごころ」
喫茶店、リサイクルショップ、手作り小物の制作等の小規模作業所



雇用の場の創出



いきがいを持って働く

共に創る ・繋げる

響き合う 生活

3. 仲間づくりとネットワークづくり

会員交流活動
家族会活動
日米精神障害当事者交流会の開催
バザー等の開催と委員会活動
全国、県・市内外の関係機関との連携
国内外の障害者団体との連携



日米精神障害当事者交流プロジェクト



毎年開催する大バザーは地域交流の場

会員の会員による運動

やどかりの里は1970（昭和45）年に活動を開始し、1973（昭和48）年5月に法人設立が認可されました。1987年（昭和62）年に精神保健法が制定されるまでの間、精神障害がある人は、法的に障害者と見なされず、福祉的な活動は公的にも認知されませんでした。そこで私たちは、活動の公共性と公益性を再確認し、誰もが運動の担い手となれること、そして、主体化された市民が組織を運営していく仕組みとして、社団法人を選択し、活動を開始しました。

公的補助金のない約20年間、やどかりの里の活動を支え共に担ってきたのがこの社団法人の会員です。

財政面はもとより、活動でも会員が支えてきました。会員はメンバー（やどかりの里を利用する当事者をメンバーと呼ぶ）、職員はもちろん、メンバーの家族、医療保健福祉の専門家、地域の協力者、一般市民等、幅広く構成されています。

広がりのある運動体

「やどかりの里」は、その時その時の状況やメンバーの希望、社会の動き、流れによって変化してきました。

「やどかりの里」を利用しながら地域の中で生活しているメンバーの要請に応じて、地域の中で必要な資源を模索しながら、様々な活動を生み出してきたのです。



市民向けの研修会

- 4. 人材の育成，養成
 - 精神保健・福祉に関するセミナー・ワークショップの開催
 - 生涯研修に関するセミナーの実施
 - 精神保健福祉士の資格実習指導
 - 心理臨床実習指導
 - 保健福祉現場の初任者，従事者研修
 - 福祉専門職向けスーパービジョン

- 5. 福祉教育
 - 障害のある人や職員による講演活動
 - 市民向け講座の開催
 - 専門教育機関での講義

学び合い ・育ち合う



学会発表

探究する ・発信する



研究所報告・交流集会

- 6. 保健福祉研究の推進
 - やどかり研究所（会員制）の設置
 - テーマ別学習・研究活動
 - 研究所サロン（学習会）の開催
 - 研究報告会と交流集会の開催
 - 各種学会での発表

- 7. 情報の発信
 - 機関紙「やどかり」の発行
 - やどかり出版・やどかり印刷
 - 「響き合う街で」（季刊誌）の発行
 - 障害からのメッセージ「やどかりブックレット」の発行
 - 保健・福祉専門図書の発行
 - ホームページによる情報発信



図書の出版

合っ て き る



<http://www.yadokarinosato.org>

現在は、約220人の障害のある人が「やどかりの里」を利用し、地域生活を送っています。

地域に根ざした活動を

さいたま市の障害者計画にも参画し、さいたま市から委託された障害者支援の仕事を積極的に行っています。また、全国各地からの見学者も多く、保健・福祉・医療の大学等との連携も行っています。

多くの方々に支えられています

やどかりの里の財源のしくみは、以下の通りとなります。

1) 会費収入

当会の運営の基本となる会員会費です。

2) 事業収入

社会福祉施設等の利用料や、出版や印刷事業、その他生産販売事業に伴う収入です。

3) 共同募金配分金

「赤い羽根共同募金」の配分金です。

4) 補助金・委託金

本会が、公共性、公益性の高い団体という性格から、国や県・市の補助金や、国や県・市の事業を本会が代わって行うための委託金収入です。

5) 寄付金

本会の組織、事業に賛同し、支援してくださる方々からのご厚意です。

<沿革>

1970 (昭和 45) 年	大宮市七里 (現さいたま市見沼区風渡野) に中間宿舎としての活動を開始
1972 (昭和 47) 年	大宮市 (現さいたま市見沼区) 中川に移転, 機関紙「やどかり」創刊
1973 (昭和 48) 年	法人設立 (社団法人), 初代理事長に岩本正次就任
1974 (昭和 49) 年	調査研究部門 (現「やどかり研究所」) 設置
1977 (昭和 52) 年	やどかり出版事業開始, 家族の会「浜砂会」が発足
1979 (昭和 54) 年	雑誌「精神障害と社会復帰」(現「響き合う街で」) 創刊
1981 (昭和 56) 年	理事長に谷中輝雄就任
1982 (昭和 57) 年	埼玉県より初めての助成金 (年間 50 万円) がつく
1988 (昭和 63) 年	「保健文化賞」受賞
1990 (平成 2) 年	「やどかりの里授産施設」, 「やどかりの里援護寮」を開設
1992 (平成 4) 年	「キワニス社会公益賞」受賞 グループホームを設置, 作業所「ドリームカンパニー」, 「あゆみ舎」を開設
1993 (平成 5) 年	作業所「アトリエなす花」, 「食事サービスセンターまごころ」を開設
1995 (平成 7) 年	作業所「喫茶ルポーズ」を開設
1997 (平成 9) 年	福祉工場「やどかり情報館」, 通所授産施設に「食事サービスセンターエンジュ」開設
1998 (平成 10) 年	「浦和生活支援センター」を開設
1999 (平成 11) 年	世界心理社会的リハビリテーション学会の世界的先進的リハビリテーション活動「ベスト・プラクティス」 に選ばれる。「大宮東部生活支援センター」, 「大宮中部生活支援センター」を開設
2001 (平成 13) 年	作業所「You 遊」を開設
2002 (平成 14) 年	会長に谷中輝雄, 理事長に土橋敏孝就任
2006 (平成 18) 年	やどかりの里後援会発足

<社団法人やどかりの里 入会のご案内>

やどかりの里の活動は, 会員の合議によってすすめられています。会員は, 法人事業の運営に参画して, 個人の意見を反映することができます。やどかりの里の活動主旨に賛同し, 会費を納めた方はどなたでも法人の会員になれます。

【法人会費】

個人 年額 10,000 円

【会費納入先】

郵便振替 00160-5-129879 加入者名 社団法人やどかりの里

<後援会の会員となって私たちの活動を支えてください!>

やどかりの里後援会は, 社団法人やどかりの里を支援し, 地域に精神保健福祉を推進していきます。そのためには, 多くの方々に後援会の活動をご理解していただき, 共に地域や福祉を支える仲間, サポーターとなっていただきたいと考えます。ぜひ皆様のお力をお貸しください。

【後援会の主な活動】

- ・社団法人やどかりの里の運営及び設備整備等の拡充のための資金援助を行います。
- ・市民の方々へ社団法人やどかりの里の運営への理解, 協力を得るための活動を行います。
- ・広報誌の発行によって会員相互の親睦を図ります。
- ・その他, 目的達成に必要な活動を行います。

「やどかりの里後援会規約」より抜粋

【会員特典】

- ・機関紙「やどかり」を毎月郵送します。
- ・やどかり出版の書籍を, 本体価格から 1 割引きします。
- ・学習会, イベント開催のお知らせを郵送します。

【入会方法】

郵便振替用紙に会員種別及び口数を記入の上, 下記口座までご入金ください。

【会費納入先】

郵便振替 00180-3-116486 加入者名 やどかりの里後援会

【会費】

後援会費	個人	年額	1口	2,000 円 (2口以上)
	団体 A 法人又は事業所	年額	1口	12,000 円 (1口以上)
	団体 B 上記以外の団体	年額	1口	5,000 円 (1口以上)

【後援会会員】

役職	会長	山崎 光夫 (株式会社山崎工務店 代表取締役会長)
	副会長	杉浦 信剛 (元埼玉県社会福祉協議会 副会長)
		松井 勝巳 (元さいたま市中川自治会役員)
		飯塚 哲朗 (株式会社千乃風「スワンベーカリー北浦和」代表取締役)